

パンの話2 フランスのことわざ「板の上にパンがある」って？



今回は前回の**パンに関する話**の続きを書きたいと思います。

さて、お聞きいたしますが、皆様はごはん派でしょうか、パン派でしょうか・・・それとも、双方でしょうか？

改めて私の話になりますが、子供の頃は食事の時に必ずパンを食べていました。
(いやむしろ、むさぼり喰っていたと書いた方がふさわしい)

ピザと、ジャガイモピューレーと、**とにかくパン!** 父にもよくこう言われてからかわれました。

Tu ne manges que des sandwichs au pain !
(君はパン入りサンドイッチしか食べないのかい)

パンをめぐることわざ

では、私の好きなパンを巡る諺をご紹介します。今回はまず一つ目ですね。

Avoir dû pain sur la planche. はご存知ですか。

直訳：板の上にパンがある。

意味：すること（仕事）がたくさんある。

使い方は例えば

Reposons-nous bien ce soir, car demain nous **avons dû pain sur la planche** !

その意味は「明日はすることがたくさんあるので、今夜はゆっくり眠りましょう」。

フランス語に根づくパン屋さん

このように、フランスの食生活を支えてきたパン屋さん達は、フランス語にたくさんの影響を残しました。

執筆 Matthieu

上記の日本語はMatthieu先生が書いたものに一部修正を加えたものです。
日本語が堪能なMatthieu先生は、レッスンでも日本語可能です。ぜひ一度お試しください。（スタッフ）

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。



